

新庄市小中一貫教育通信

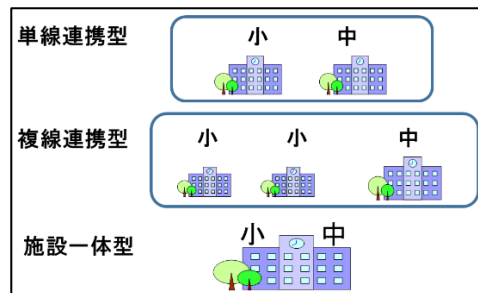
第41号 令和6年 6月26日

新 庄 市 教 育 委 員 会

特色ある小中一貫教育推進のために ～令和6年度の各中学校区・義務教育学校での取り組み～

本市では、様々な形態で小中一貫教育を進めております。小中一貫の形態として、単線連携型※¹（新庄中学校区、日新中学校区）、複線連携型※²（八向中学校区）、施設一体型※³（明倫学園、萩野学園）があります。各中学校区・義務教育学校で実践し、得られた成果は連携の形にとられず、それぞれの教育活動に生かしていけるようにしています。

今年度の各中学校区・義務教育学校での主な取り組みの予定を紹介します。



- ※¹ 単線連携型…近隣の施設が異なる1つの小学校と1つの中学校で小中一貫教育を行います。
- ※² 複線連携型…近隣の施設が異なる複数の小学校と1つの中学校で小中一貫教育を行います。
- ※³ 施設一体型…同じ校舎で、1年生から9年生までがともに学校生活を送ります。

（1）新庄中学校区

① 児童・生徒が主体的にかかわる活動の推進

- ・応援メッセージの交流や合同あいさつ運動、読み聞かせ交流など
- ・児童生徒が主体となった取り組み（“服のチカラ”プロジェクト※⁴など）

※⁴ “服のチカラ”プロジェクト…企業と連携し、不要になった子ども服を回収して、難民などの服を必要とする方に送る取り組み。

② 小中合同全体研修

- ・児童生徒理解のためのQ-U※⁵活用研修や授業の充実に向けた研修の実施
- ・特別支援教育に関する研修の実施

※⁵ Q-U…学校生活の満足度と意欲、学級集団の状態を調べることができるアンケート

（2）日新中学校区

① 教職員の共同研究

- ・探究型の授業づくりに向けた研究会の実施
- ・めざす児童生徒像に合わせた部会の中での情報交換

② 児童生徒間の交流

- ・児童会（小学校）、生徒会（中学校）による壮行式相互応援
- ・合同あいさつ運動や児童会生徒会合同リーダー研修会の実施



（3）八向中学校区

① 各種合同研修会の実施

- ・授業づくりのための三校合同研修会の実施
- ・八向中学校区 PTA 連絡協議会と連携した教育講演会の実施

② 児童生徒の三校交流

- ・ 升形小学校と本合海小学校の交流や、小学生と中学生の交流の実施
- ・ 行事協力、小中合同あいさつ運動、小学校への学習ボランティア

(4) 明倫学園

① 特色ある学校づくりの推進

- ・ 夢づくり講習会、ボランティア活動、環境学習、合唱活動の充実
- ・ 系統的なふるさと学習の実践、「明友サロン」を活用しての地域交流

② 夢を持ち、学び続ける子どもの育成

- ・ 探究的な授業づくりの推進のための研修、9年間のスパンでの家庭学習の実践
- ・ 自らの力を伸ばすための学習計画づくり

(5) 萩野学園

① 地域とつながるふるさと学習の推進

- ・ 「はぎの探究タイム」を中心に据えた9年間を通した探究型学習の実践
- ・ 栽培や収穫活動などを取り入れた地域に目を向ける活動の充実

② 校内授業研究会の継続実施と研究の日常化

- ・ 外部講師を招いての授業づくりのための研究会
- ・ 教科担任制、教科教室を生かした専門性の高い授業づくり

ここで紹介した教育活動以外にもたくさんの取り組みを行っております。今年度を実施した具体的な取り組みについては、3月の「新庄市小中一貫教育通信」にてお知らせいたします。

新庄市小中一貫教育のはじまり

本市では、平成18年度より、市内5中学校区において、それぞれの地域の特色に応じた小中一貫教育の実践がスタートしました。その中で、平成27年4月に、施設一体型小中一貫教育校「萩野学園」を開校し、翌年4月には、義務教育学校「萩野学園」として新たなスタートを切りました。また、令和3年4月には市内2校目の義務教育学校「明倫学園」が開校しました。

今年度で、地域に根ざした小中一貫教育をめざしてから19年目となります。様々な形態での小中一貫教育が実践できるのは本市の強みであり、実践を続けてこれたのは各中学校区での地域の方の協力があったからだと考えております。

令和6年度も地域と一体となって新庄市の小中一貫教育を推進していきます。

新庄市の小中一貫教育について、ご意見等ございましたら下記にお寄せ下さい。

新庄市教育委員会

施設設備等のことなど	・ ・	教育総務課	(直通23-5004)
小中一貫教育の内容など	・ ・	学校教育課	(直通23-5003)